

それでも私たちは、また女に生まれ変わるだろう。

「いつの間にか涙があふれていました。
こんなに気持ちのいい涙を流したのは初めてです。」

ジョイ・ラック・クラブ

THE JOY LUCK CLUB

原作 エイミ・タン

ハリウッド・ピクチャーズ提供 オリバー・ストーン・プロダクション

ウェイン・ワン作品 "THE JOY LUCK CLUB" 音楽レイチェル・ボートマン 編集メイシー・ホイ 撮影監督アミール・モクリ

製作総指揮オリバー・ストーン ジェネット・ヤン 脚本エイミ・タン&ロナルド・バス 製作ウェイン・ワン エイミ・タン ロナルド・バス ハトリック・マーキー 監督ウェイン・ワン

オリジナル・サウンドトラック盤ボニー・キャニオン 原作:角川文庫 配給/BUENA VISTA INTERNATIONAL (JAPAN) © Hollywood Pictures. All Rights Reserved. HOLLYWOOD PICTURES

「全米を涙で包んだ、本年度最高の感動ヒューマン・ストーリー」

「お母さんは私を支配しているのよ。
お母さんのひと言ひと言や、眼差しが。
でも私は、
私以上の人間にはなれない。」

映画「ジョイ・ラック・クラブ」は、
全米で小規模公開ながら
評判が評判を呼び拡大公開、
そしてついに6週間連続で
全米興行収入ベスト10入りを果たした。
この原作は、20ヵ国以上に翻訳された
エイミ・タンの大ベスト・セラーの映画化です。
自由を求めて祖国を離れ、
けれど中国と心の傷から逃れられない母たちと、
生まれたときからコーラとテレビに囲まれ、
英語しか話さず、
それでも自由の重さにあえぐ娘たち……。
1994年春、生きることの喜びや、
女性であることのすばらしさを、
さわやかな涙と一緒にあなたのもとにお届けします。

ジョイ・ラック・クラブ THE JOY LUCK CLUB



「喜びと悲しみを分けあうために、女たちは集まった。」

その日、ジュンはジョイ・ラック・クラブの4番目の席に着いた。母が始めたこのクラブはその名のとおりジョイ(喜)とラック(運)を分けあおうと3人の女友達と始めたマージャンクラブ。

30年の間、彼女たちはテーブルを囲んで喜びも哀しみも分かち合ってきた。ジュンはその席で、中国にいる双子の姉の存在を知らされた。母スーアンは戦火を逃れる道すがら、まだ乳飲み子だった二人をやむなく置き去りにしたのだ。

アメリカに渡りジュンを生んだ後も、罪の意識に苦しみ消息を追っていた母。二人の生存を確認することも、再開も果たせぬまま去ってしまった母の哀しみを知らうとしなかった自分を悔やみ、ジュンは決心する。母の故郷を訪ねようと……。そして二人の姉達に、母のすべて伝えようと。

「それでも私たちは、また女に生まれ変わるだろう。」

監督は「夜明けのスローボート」「スラムダンス」でカンヌ映画祭で高い評価を受けたウェイン・ワン。脚本には「レインマン」でアカデミー最優秀脚本賞を受賞したロナルド・バスと原作者エイミ・タンが共同であたり原作の持つ精神を忠実に描いている。

さらに、「リバー・ランズ・スルー・イット」の製作者パトリック・マイキー、アカデミー賞監督のオリバー・ストーンら超一流のスタッフが加わり、感動の物語を作り上げた。

原作：角川文庫
オリジナルサウンドトラック盤ニーキャンニオン



近日、感動のロードショー!

特別鑑賞券(一般¥1500/学生¥1300/高齢者¥2800)好評発売中(送)

有楽町・東宝映画街

日比谷みゆき座

03(3591)5357

新宿駅中央口・三越ウラ

新宿武蔵野館

03(3354)5670

渋谷道玄坂 ザ・プライム6F

シネセゾン渋谷

03(3770)1721

関内駅・馬車道通り

横浜東宝会館

045(681)7410